

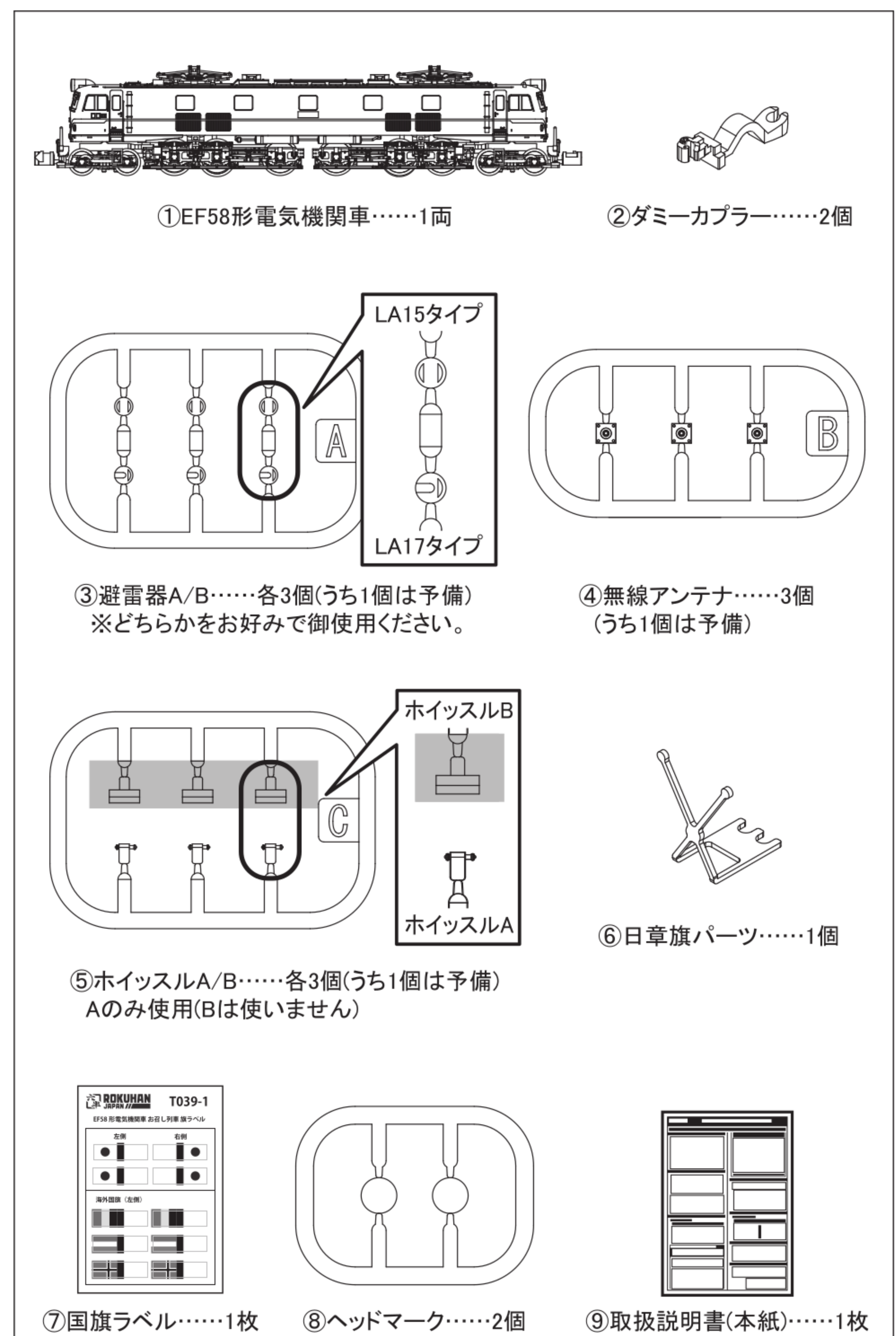
※本製品に付属のパーツを取り付ける場合は、プラスチック用ニッパー、ピンセット等が必要です。

この度はロクハン製品をお買い求めいただきありがとうございます。鉄道模型は精密に出来ておりますので、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになって、正しくお使いいただけますようお願いいたします。

### 1 取り扱い上の注意

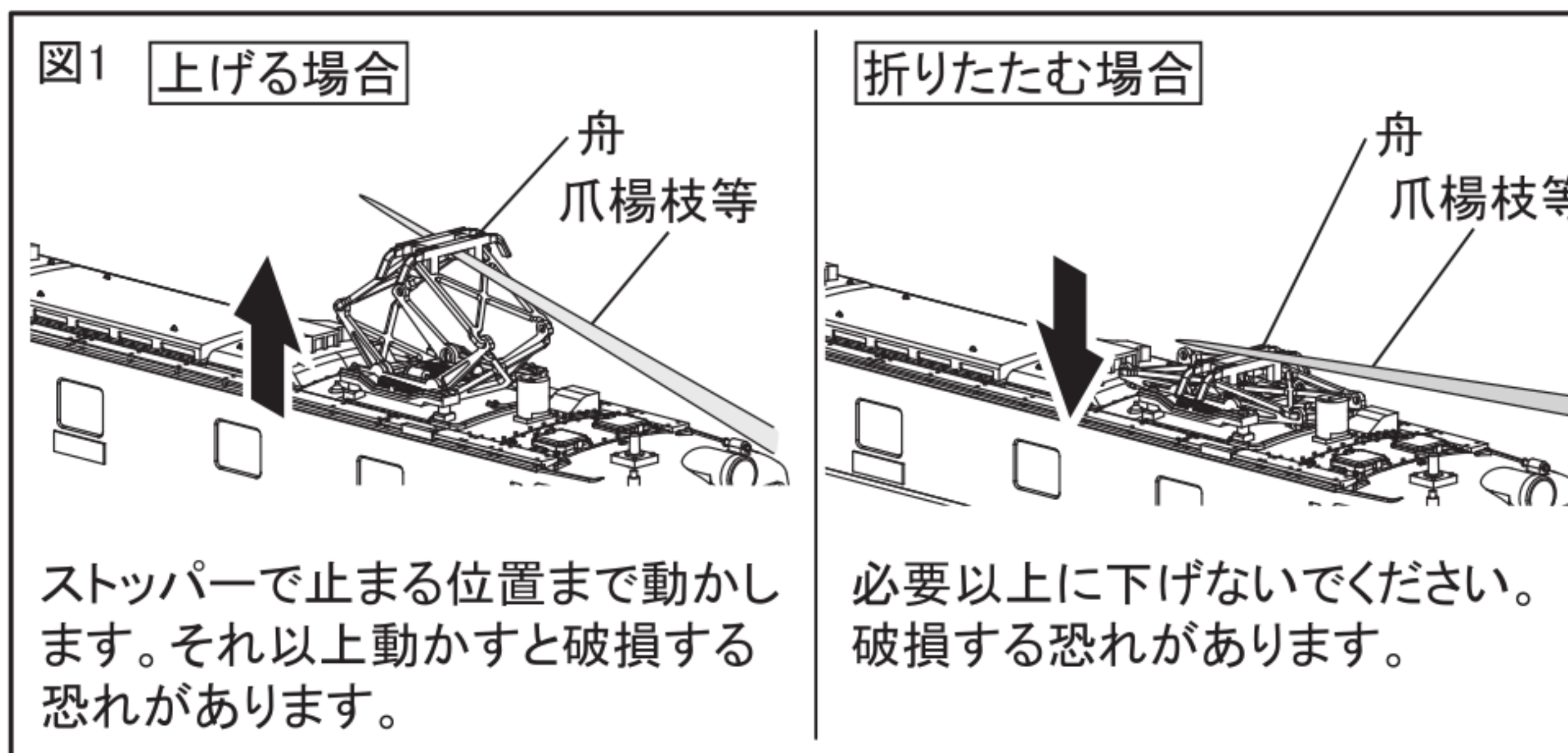
- 本製品の運転には必ずロクハン製コントローラーをご使用ください。
- 運転の前には線路(金属レール)の清掃をしてください。
- 車輪に汚れやホコリが付着したら拭き取ってください。
- 長時間の連続走行はしないでください。
- 走行中、急激に進行方向を切り替えしないでください。進行方向を変える場合は、一度停車させてから進行方向を切り替えてください。
- 脱線やショートした場合はコントローラーの電源を切り、プラグをコンセントから抜いた後、原因を取り除いてください。
- 故障の原因になりますので、分解や改造をしないでください。
- 車両を直射日光や蛍光灯に長時間当てると塗装が変色しますのでご注意ください。
- ホコリの多い場所や高温多湿となる場所、暖房器具の近くでの使用、保管はおやめください。
- 感電の危険がありますので、製品をぬらしたり、ぬれた手で触らないでください。
- 製品の尖っている部分でケガをしないよう、十分にご注意ください。
- 製品の特性上、この商品は15歳未満のお子様には適しません。15歳未満のお子様の場合は、保護者のもとでお遊びください。

### 2 セット内容



### 3 パンタグラフの取り扱い方

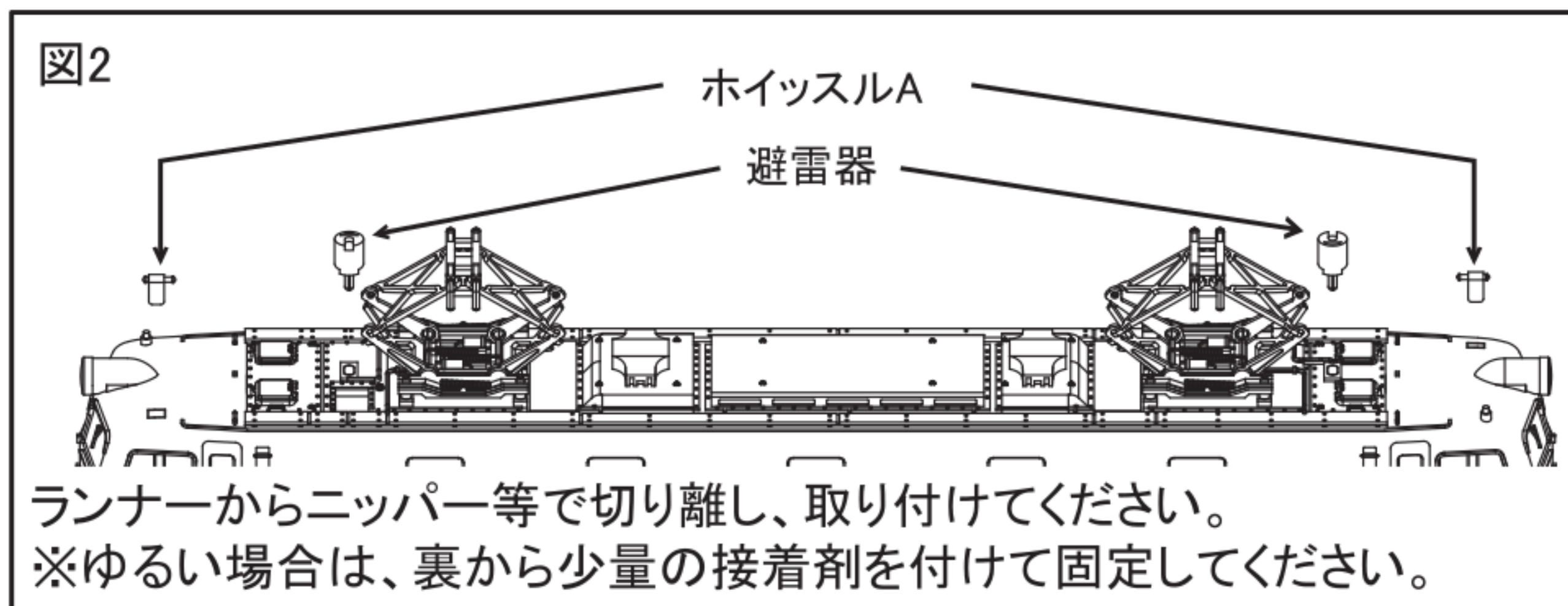
図1を参考に、パンタグラフを持ち上げるときは舟の下側を、パンタグラフを折りたたむときは舟の上側を爪楊枝等の細い棒でゆっくりと動かしてください。



### 4 付属パーツの取り付け方法

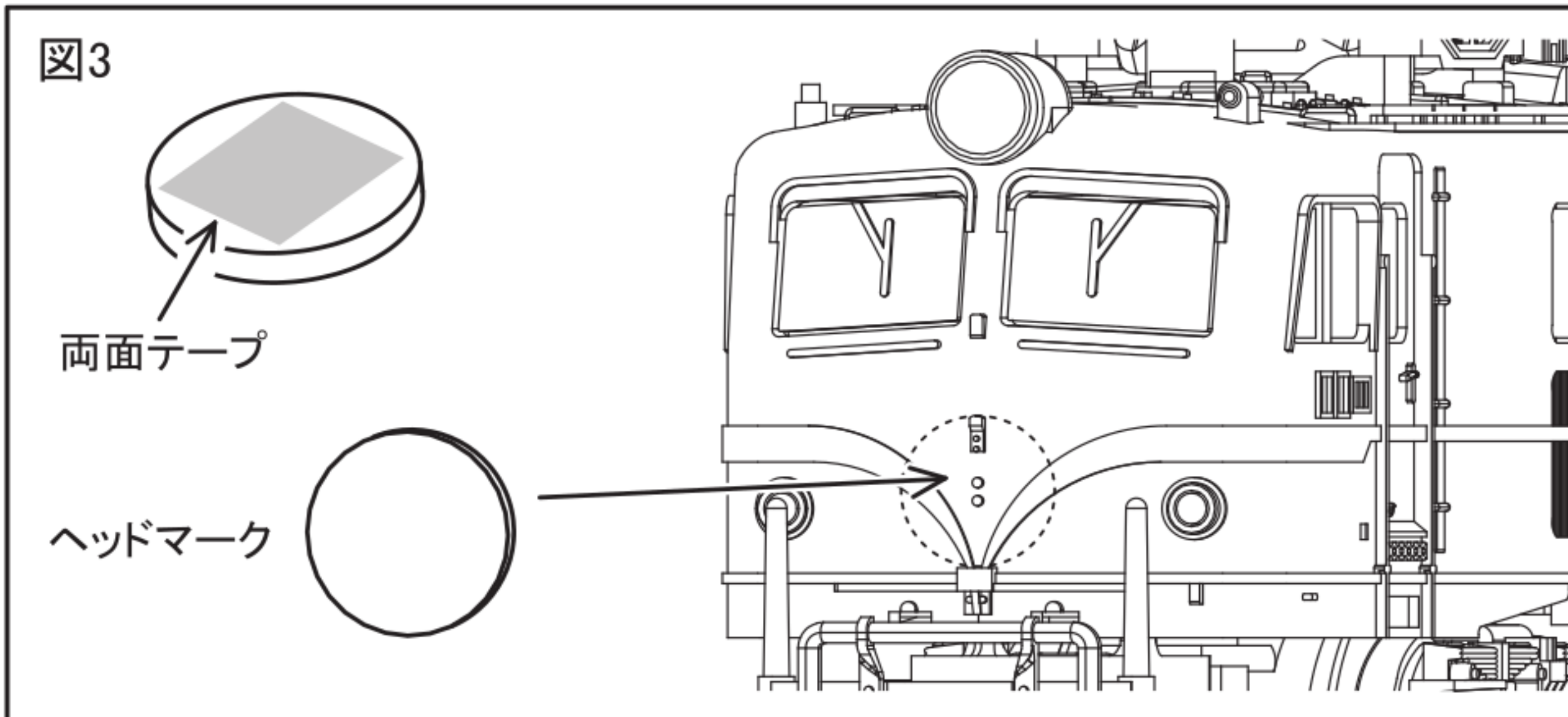
#### 4-1 避雷器、ホイッスルの取り付け方

図2を参考に、避雷器・ホイッスルを取り付けてください。



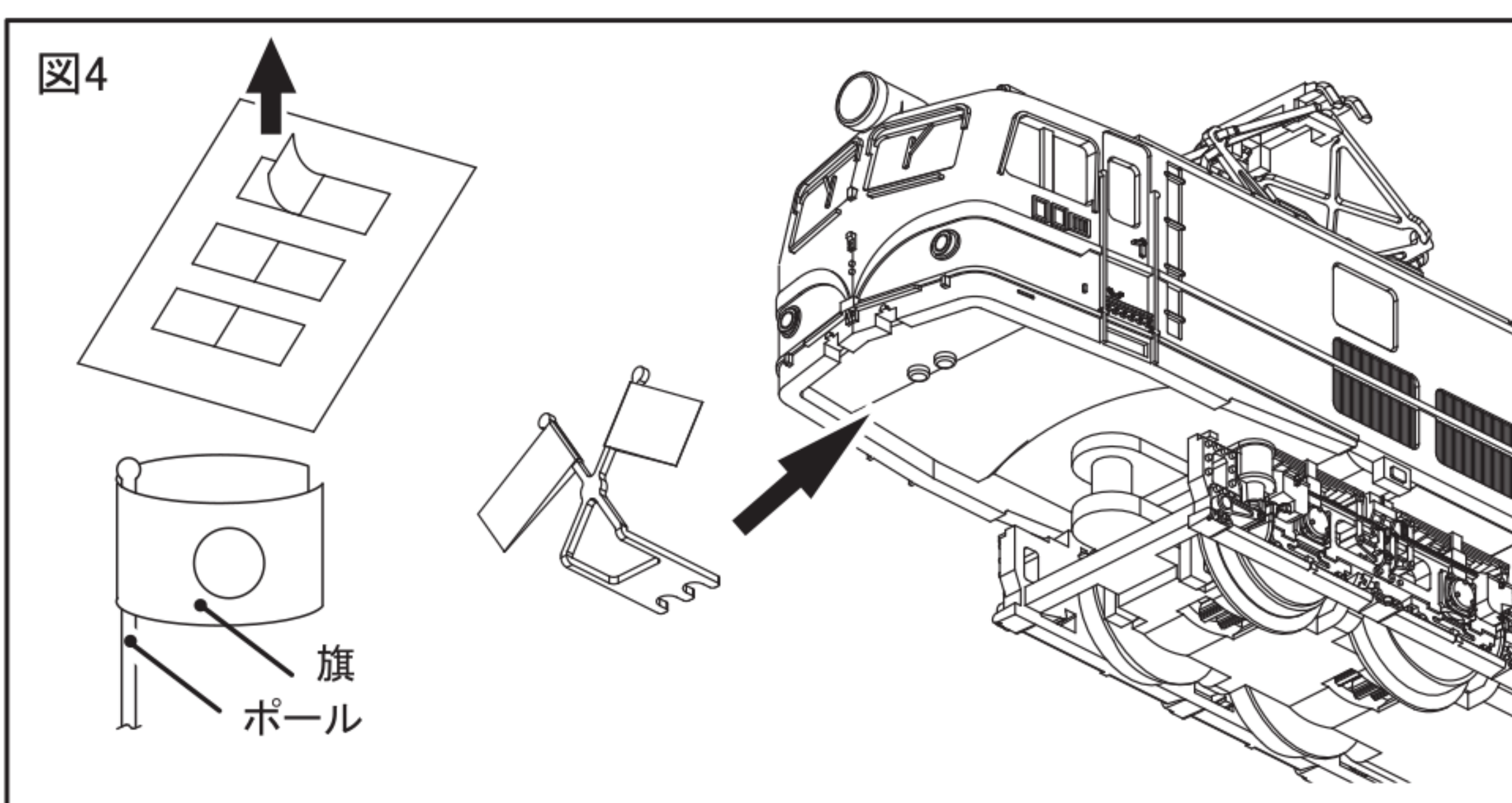
#### 4-2 ヘッドマークの取り付け方

図3を参考に、ランナーパーツからヘッドマークをニッパー等で切り離し、両面テープなどで車両に貼り付けてください。



#### 4-3 日章旗パーツの取り付け方

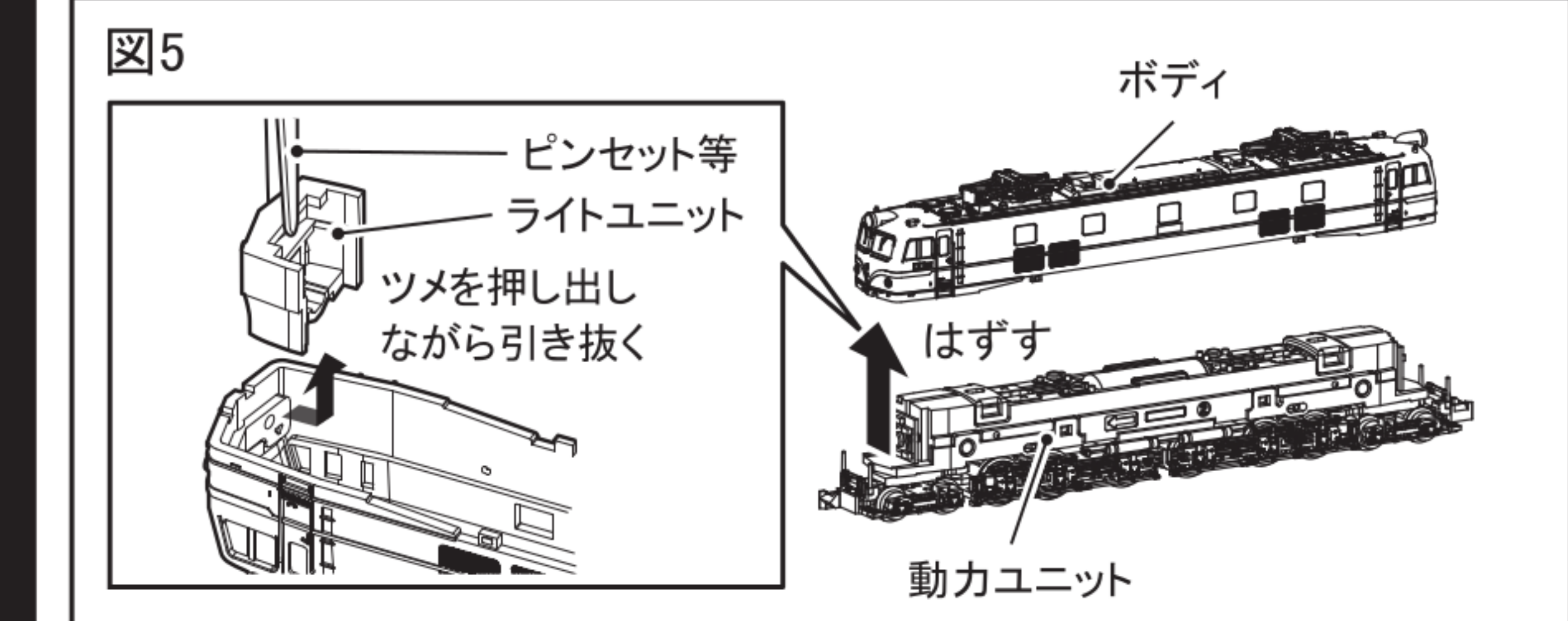
図4を参考にお好みの国旗ラベルを貼り、旗パーツの接着面に両面テープ等を貼り付け、車体底面の取り付けガイド(突起)に合わせて取り付けしてください。 ※5を参考に、先台車を取り外すと作業がしやすくなります。



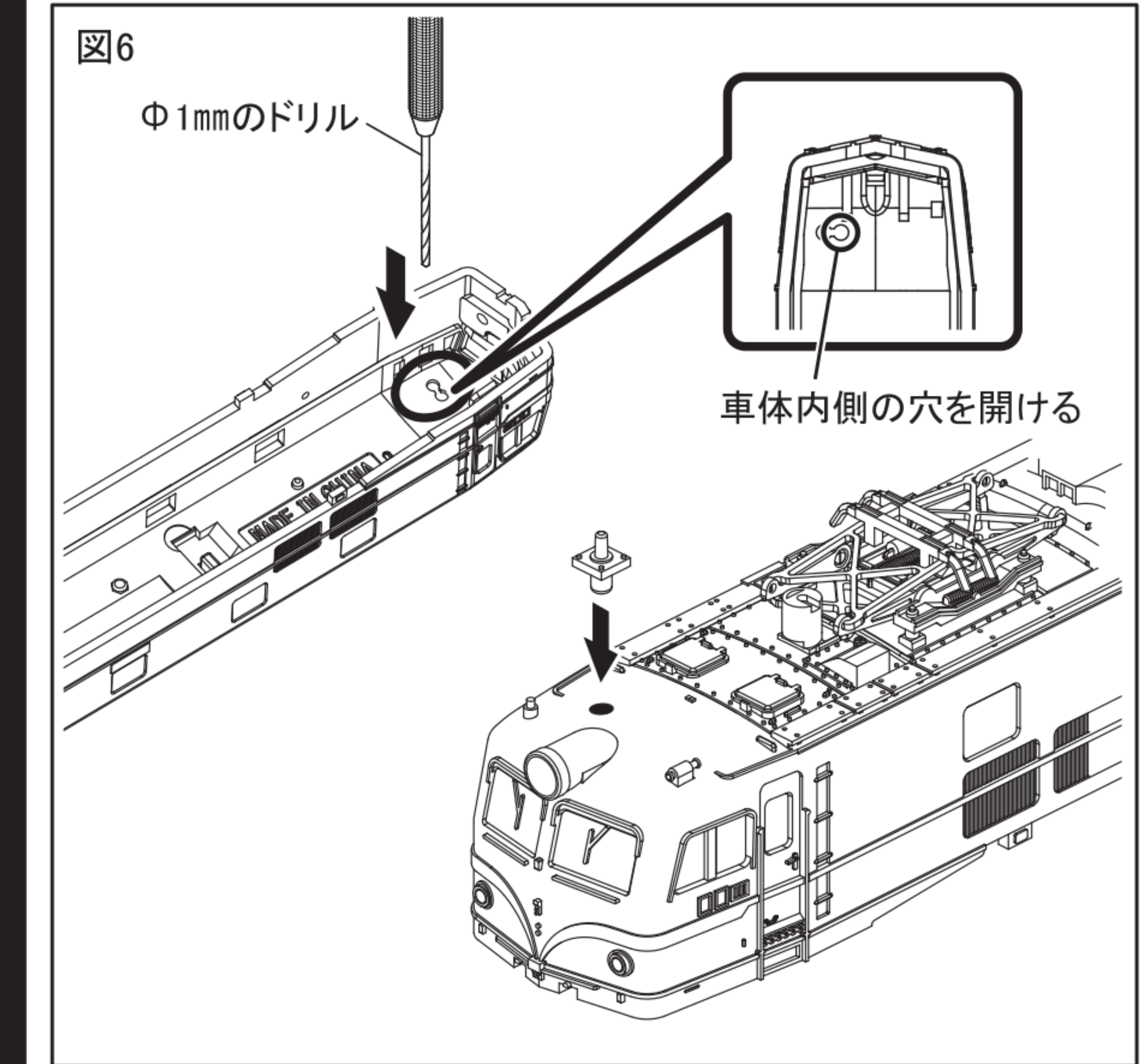
#### 4-4 列車無線アンテナの取り付け方(中・上級者向け)

これから行う部品の取り付け工程は、模型を理解した上級者向けの作業となっております。加工する際には、ケガをしないよう工具の取り扱いに十分注意し、本製品の構造を良く理解したうえで慎重に作業を行ってください。  
※無線アンテナを取り付ける場合、ドリル(Φ1mm)による穴あけ加工が必要です。

お好みの車両タイプを再現できるよう、列車無線アンテナを取り付ける穴は開けておりません。取り付けの場合は下記参考に付けてください。  
①ボディの裾を少し広げながら動力ユニットを取り外し、ピンセット等でライトユニットを丁寧に取り外してください。(※ヘッドライトのパーツが欠けないようご注意ください。)

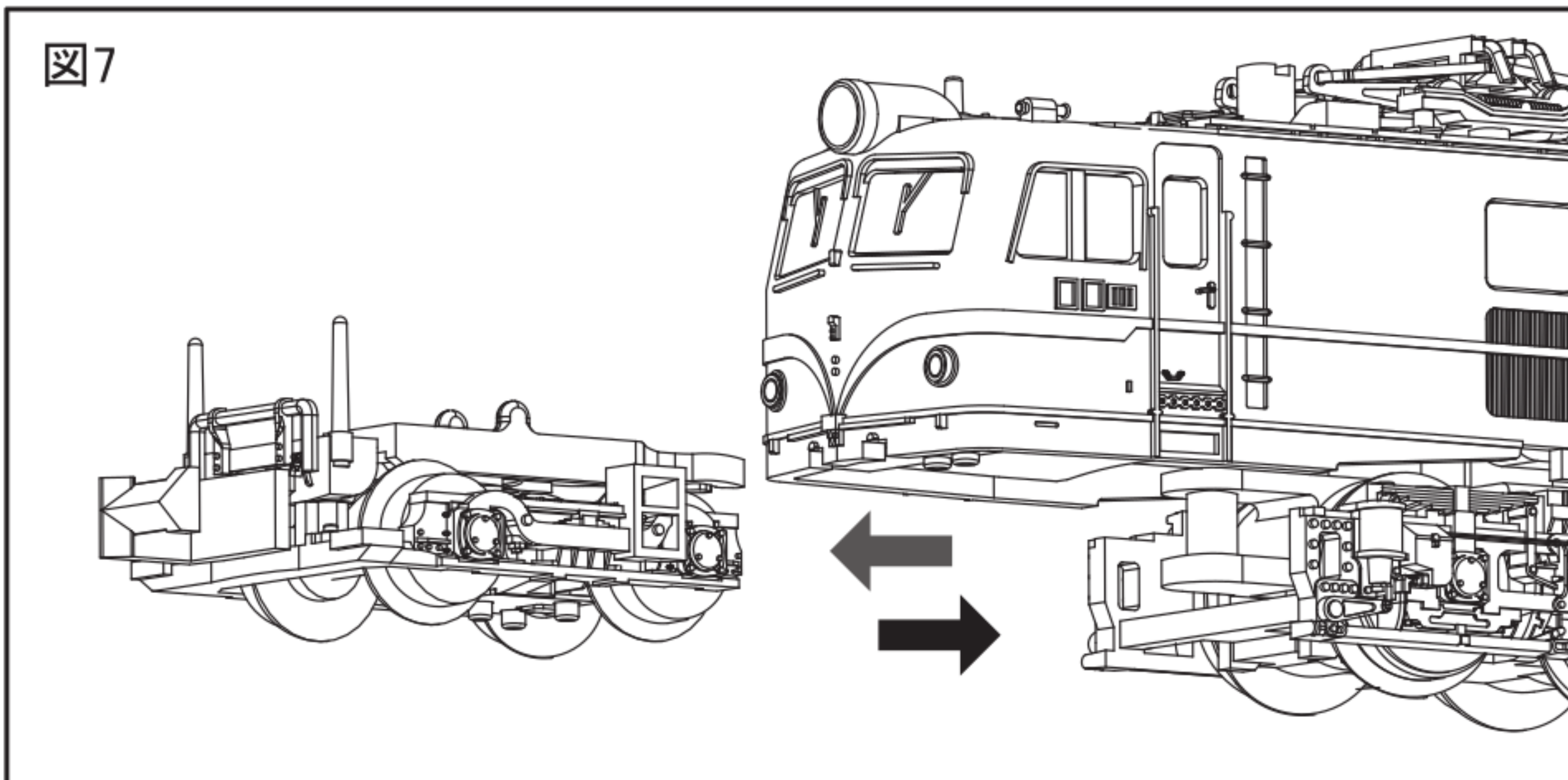


②ボディ内側のガイド穴に沿って、Φ1mmのドリルで穴をあけてください。61号機は、車体内側(ヘッドライトに近い側)の位置に無線アンテナを取り付けます。

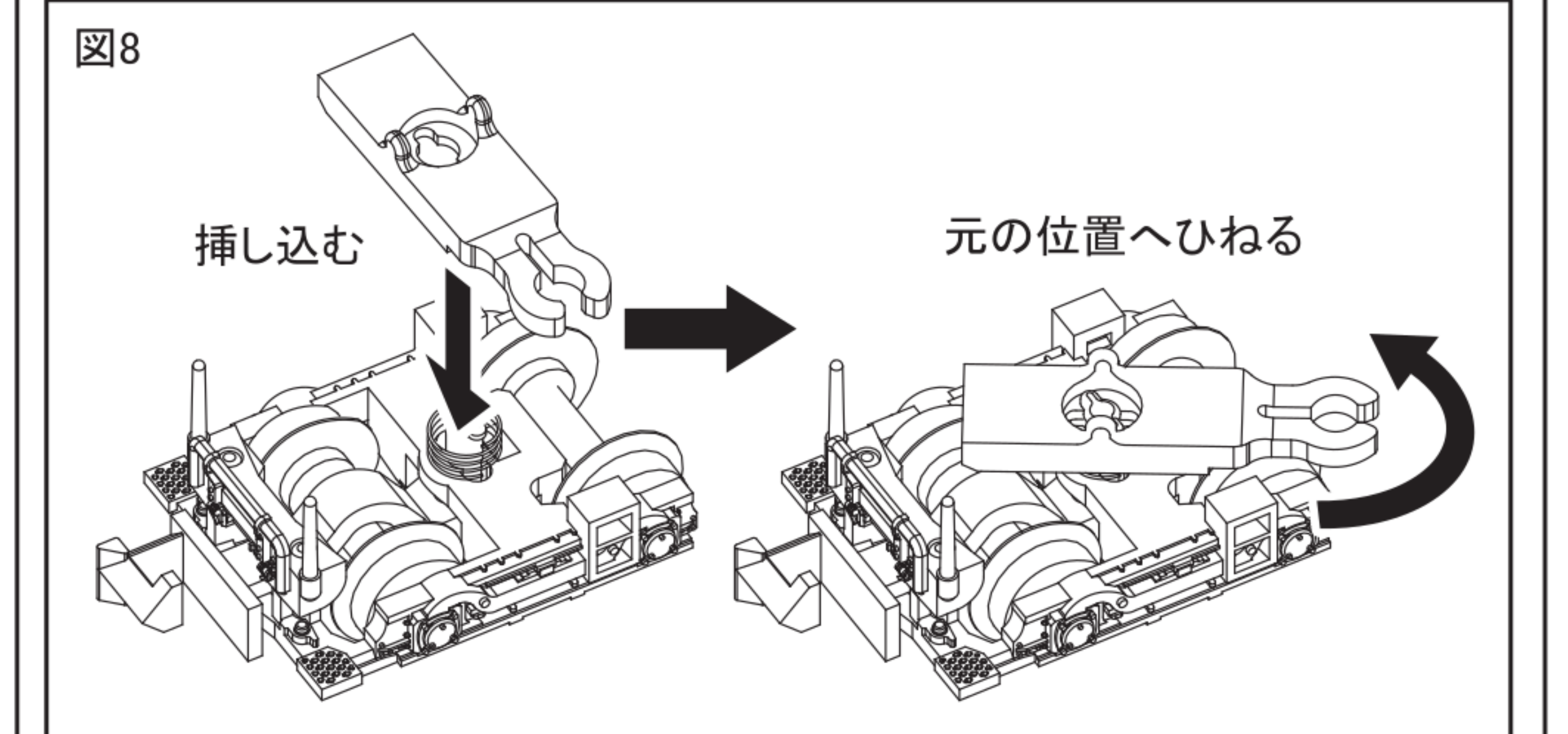


### 5 先台車の取り付け・取り外し方

図7を参考に、先台車を引き抜くことができます。取り付けるときは逆の手順です。パーツが外れやすいので丁寧に作業を行ってください。

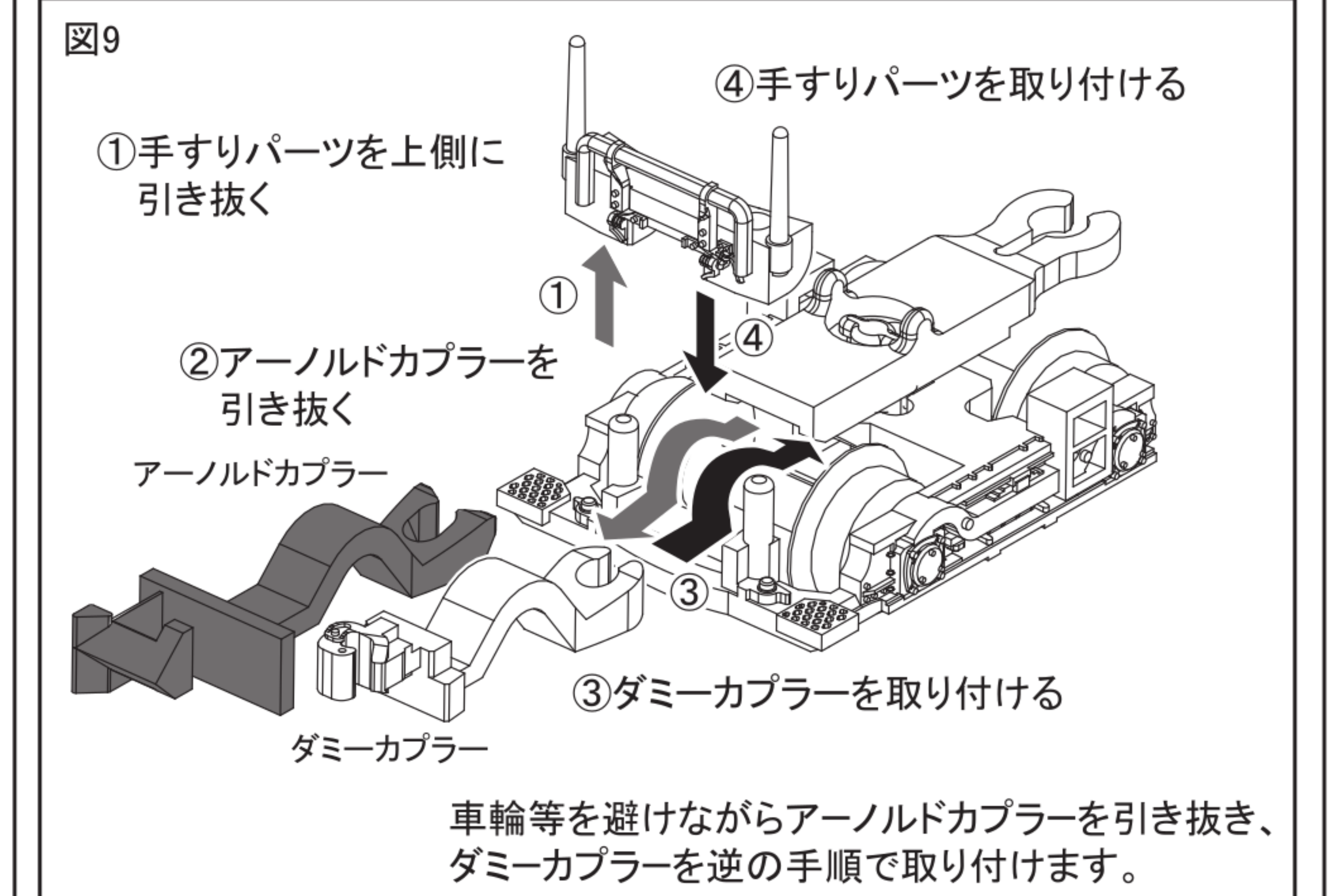


先台車のパーツが外れてしまった場合は、図8を参考に90度曲げた状態で上から挿し込み、元に戻してください。パネを紛失しないよう注意してください。



### 6 ダミーカブラーの取り付け方

本製品にはEF58専用アーノルドカブラーが取り付けられており、お好みでダミーカブラーを取り付けることができます(図9参照)。 ※取り付けの構造上、別売りのカブラーは使用できません。



### 7 メンテナンスについて

- 車両が走行しない場合、フィーダーケーブルやコンセントがきちんと挿し込まれていること、またはコントローラーの電源スイッチや方向切り替えスイッチの位置、電池の入れ忘れや入れ間違いにもご注意ください。
- 車両がスムーズに走行しなくなった場合、車輪やレールに汚れが付着している可能性があります。市販のレールクリーナーを乾いた布にしみ込ませ車輪とレールの汚れを拭き取ってください。 ※車輪を拭き取る際は、過度に力を入れないようご注意ください。
- メンテナンスの際、パンタグラフや精密な部品、取り付けした部品などを紛失、破損しないようご注意ください。

### 8 故障・修理について

- 誤った使用方法、取り扱い、改造、分解によって起こった事故、ケガ、故障等については弊社では一切責任を負いません。また、改造、分解した商品の修理はお受けできません。
- 製品の使用および外観は改良のため予告なく変更することがございます。
- 弊社は部品の販売はしておりません。
- 製品には万全の注意を払って製造にあたっておりますが、万一お気づきの点がございましたら下記までご連絡ください。